

2025 年度入学式 新入生誓いの言葉

うららかな春の日差しが心地よい季節となりました。

本日は、私たちの為にこのような盛大な入学式を執り行っていただき、誠にありがとうございます。大学院新入生を代表して、心より御礼申し上げます。

さて、私は、日本福祉大学社会福祉学部で子どもを対象としたソーシャルワークを学んできました。大学卒業後、教育現場でスクールソーシャルワーカーとして勤務しています。そして、今年度より大学院社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程に入学することになりました。

現在の教育現場には、家族によるケアを前提とする文化的背景が依然として残っています。少子高齢化、核家族化、家庭の経済状況の悪化、共働き世帯の増加、地域力の低下、子育て世帯の孤立化など、社会構造の課題を背景として、子どもたちの経験する生きづらさが、多様化・複雑化しています。こうした社会状況の中で、今を生きる子どもたちにそぐわない校則や慣習などが原因となり、生き生きと主体性を発揮できずパワーレスに陥る子どもたちと出会ってきました。

人々が直面する多様な課題やそれぞれ経験する生きづらさの解決を目指す為には、従来の縦割り施策や専門領域に閉じこもった支援では、ソーシャルワークを届けることは出来ません。

これからのふくしには、自らが専門とする分野から一歩踏み出し、柔軟な姿勢で包括的・重層的な支援を展開していく必要があります。その為には、常に最新の情報を入手し、現在の制度・政策を理解する継続的な学びが不可欠です。

専門領域や活動実態が異なるとしても、人類が経験したことの無い未曾有の災禍においても、私たちが実践して来たふくしの実現は、人々とともにあることに何ら変わりはありません。生きづらさを経験する一人ひとりに寄り添い、どんな困難も未来志向で乗り越え、私たちはふくしの実現に向けて立ち向かい続けます。

教育現場で感じた問題意識を、研究を通じて社会に還元しうる機会と環境を頂けたことに身の引き締まる思いです。本学大学院生としての誇りを持ち、私は「誰もが排除されない学校づくり」を研究し、誰もがしあわせを実感できる社会を目指して日々精進して参ります。

最後になりましたが、私たちの新しいスタートを祝福し、支えてくださる全ての方々に、心からの感謝を伝えます。この日を迎えるにあたり、ご指導いただいた先生方、協力し支えてくれた仲間たち、そして本日ご臨席いただきました皆様に心から感謝申し上げ、誓いの言葉とさせていただきます。

2025 年 4 月 1 日

大学院 新入生代表

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 修士課程

仮屋太洋